

令和2年度 学まちコラボ事業 募集期間・審査方法を変更しました！

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、次のとおり、令和2年度学まちコラボ事業の募集期間や審査方法などを変更しましたのでお知らせします。

なお、本事業の詳細や最新情報等については、(公財)大学コンソーシアム京都のホームページを御確認ください。

(公財)大学コンソーシアム京都
ホームページ



<変更点>

1 募集期間

令和2年4月1日(水)～【変更前】令和2年5月12日(火)～

【変更後】令和2年5月29日(金)(申請書類必着)

2 事業募集説明会

令和2年4月18日(土)10:30～(キャンパスプラザ京都5階共同研究室)【中止】

令和2年4月22日(水)19:00～(キャンパスプラザ京都5階共同研究室)

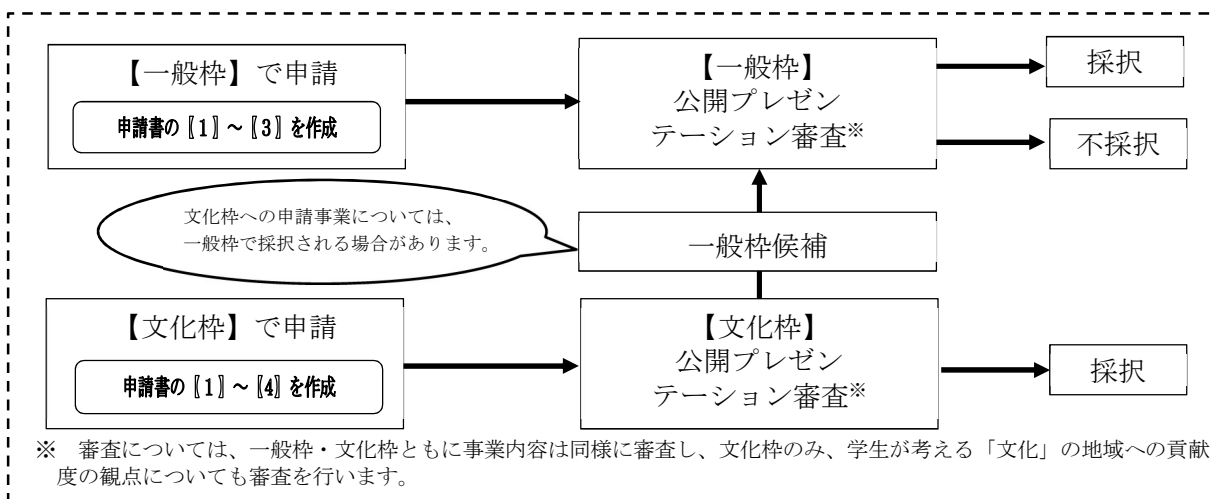
令和2年5月12日(火)19:00～(キャンパスプラザ京都5階共同研究室)【追加】

※ 定員は各回15名(1団体2名まで参加可)です。参加希望の方は、(公財)大学コンソーシアム京都ホームページからお申し込みください。

なお、説明会に参加できない場合も、随時、電話やメールで相談を受け付けていますので、下記の「お問い合わせ先」まで御連絡ください。

3 申請から審査までの流れ

今回、**1次審査(書類審査)は実施しません。**全ての申請団体に、6月21日(日)に開催する「公開プレゼンテーション審査」に進んでいただきます。



<お問い合わせ先>

(公財)大学コンソーシアム京都 学まちコラボ事業担当

T E L : 0 7 5 - 3 5 3 - 9 1 3 0 F A X : 0 7 5 - 3 5 3 - 9 1 0 1

(※ 日・月を除く 9:00～17:00)

M a i l : g a k u m a c h i - a d m i n - m 1 @ c o n s o r t i u m . o r . j p

支援金について

支援金は、認定された事業に対し、認定式後（7月下旬頃）に交付します。

支援金の対象となる経費：
「申請した取組に直接かかる費用」のみ

旅費交通費・通信運搬費・諸謝金・会議費・
印刷製本費・資料費・機材購入費・消耗品費・その他

支援金は採択決定後
速やかに支給。

支援対象となる
経費の幅が広く、
比較的自由な
使い方が可能。

支援金の対象とならない経費

各団体の運営のために支出する経費、
事務処理にかかる間接経費、飲食費、
申請団体メンバーへの賃金等

申請方法

ステップ① 申請書を書き始める前に

事業実施の背景や地域のニーズ等について、できる限り、地域の方や関係する行政機関等の意見を聴いてください。各区役所・支所の地域力推進室に相談することも可能です。

目的や達成目標を再確認して共有するとともに、考えている事業内容が目的達成のために最善の方法なのか、今一度、グループ内で話し合っておきましょう。また、継続事業については、これまでの取組をしっかりと総括し、改善点や新規性について、申請書に反映できるように整理してみましょう。

ステップ② 申請書を書こう！書式ダウンロード

★審査基準をチェックしよう！

特に一次審査は提出する書類がすべて、どのような基準で審査されるのかを確認しよう。

★何のために事業を実施するのか？目的と地域における必要性をしっかりと書こう。

ステップ①で地域の方や区役所等に意見を聴いたグループはその内容も書こう。

★連携する相手は誰？それぞれの役割は何？具体的に書こう。

本事業は、大学・学生と地域が同じ目標に向かって連携することで得られる学びを重視しています。

記入の
ポイント

ステップ③ 事業概要の登録



大学コンソーシアム京都 HP (<https://www.consortium.or.jp/project/chiiki/gakumachi/form-17>) にアクセスし、「令和2年度学まちコラボ事業」への応募オンラインフォームで事業概要を登録しよう！（150字以上200字以内）

ステップ④ 申請書類の提出

応募期間内に申請書類を提出しよう！！

募集期間	令和2年4月1日(水)～5月12日(火)【※必着】 ※郵送の場合は同日、持参の場合は午後5時必着
提出物	①申請書類 15部 ※参考資料（10枚まで）がある場合、参考資料も15部提出 ②申請書類データ（MS-Word）※CD-ROM等で提出。参考資料がある場合、参考資料のデータも提出 ※①②ともに大学コンソーシアム京都HPからダウンロードした所定の様式を変更しないようにしてください。
提出方法	大学コンソーシアム京都 学まちコラボ事業担当へ郵送又は持参にて提出（メール、FAX等での提出は不可）

※申請内容は、事務局から、活動を実施する行政区の区役所・支所に提供します。また、申請内容について、区役所や支所から問い合わせる場合があります。

お問合せ先

(公財)大学コンソーシアム京都 学まちコラボ事業担当 発行：京都市総合企画局総合政策室
TEL：075-353-9130 / FAX：075-353-9101 京都市印刷物 第315086号 令和2年3月
（※日・月を除く9:00～17:00）

Mail：gakumachi-admin-ml@consortium.or.jp
〒600-8216

京都市下京区西洞院通塩小路下る キャンパスプラザ京都



この印刷物が不要になれば
「雑がみ」として古紙回収等へ！



検索 学まちコラボ



学生と地域の取組を応援！！

学まちコラボ

令和2年度 事業募集



「学まちコラボ事業」って？

学まちコラボ事業は、学生の皆さんが地域に飛び出し、地域の方と連携・協働を深めることで、大学のキャンパスの中だけでは得られない学びと成長の充実を図ることを目的に実施しています。

京都のまちは、地域活動が盛んで、学生を大切にしている。京都のまち全体がキャンパスとなり、学生の皆さんが、地域を知り、地域の方と連携し、地域の方と気持ちを合わせながらまちづくりに貢献する中で、学び、成長する…。

京都市と大学コンソーシアム京都では、そのような学生を応援するために、大学・学生と地域が連携・協働して実施する京都のまちづくりや地域活性化に資する事業を広く募集し、認定した事業に支援金を交付しています。

学まちコラボ事業
最大の目的は
学生の
『学び』『成長』
の応援です。



申請区分・支援金額・採択件数

申請区分	支援金額	件数
一般枠	最大30万円	10～15件程度
文化枠	最大45万円	2件程度

※文化枠で申請する場合、文化の継承・発信につながるよう、支援金を活用し、印刷物や映像などの成果物を作成していただくことが条件です。

令和3年3月に開催する事業報告会では、一般枠及び文化枠の中から、最も優秀であると認められた事業の実施団体（1団体）を表彰し、

賞状、トロフィー、活動奨励金10万円を贈呈します。



令和2年度 事業募集説明会 申込不要

日時 ①令和2年4月18日(土) 10:30～

②令和2年4月22日(水) 19:00～

場所 キャンパスプラザ京都5階第1共同研究室

募集期間

令和2年

4月1日(水)～5月12日(火) ※必着

令和2年



公益財団法人 大学コンソーシアム京都
The Consortium of Universities in Kyoto



京都市
CITY OF KYOTO



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



京都市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています



<連携・協働って??>

学まちコラボ事業が考える「連携・協働」とは、市民や事業者の皆さまなど京都市で暮らす地域の方々と大学・学生が、「地域のために」という目的・目標を共有し、ともに手を取り合って活動することです。

地域連携の手法や進め方はさまざまですが、

- ・どこで(地域)、誰と(連携地域・団体)、何を(目的)したいのか
- ・連携によりどのような効果が期待できるのか

などの点について、**学生の皆さん自身が地域と一緒に考えて、取組を進めていくことが重要です!!**

学生ならではの視点や発想で、新たな提案を期待しています。

相手探しや目標の共有など、連携のコツは。

「大学・地域連携ポータルサイトGAKUMACHI STATION」

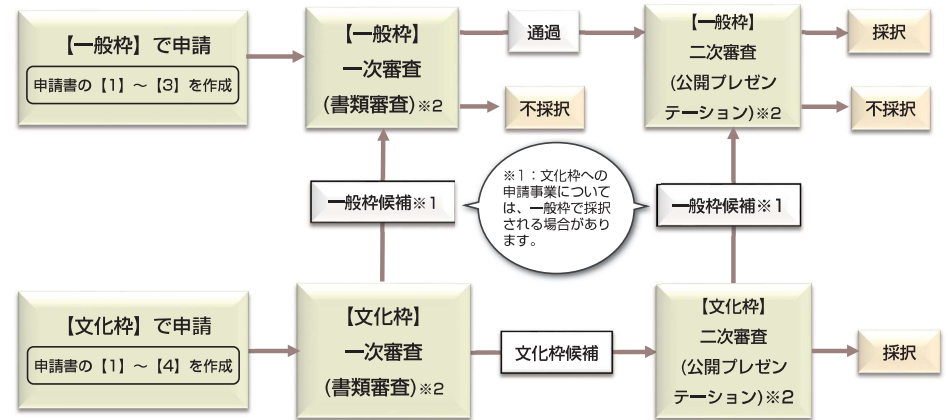
<http://www.gakumachi.jp/> をチェック!!



「京都でやってみたいことはあるけど、どこと連携したらいいんだろう…」など、不安な人も大丈夫!!
大学コンソーシアム京都まで、お気軽にご相談ください。
京都にいる学生の皆さん!!
地域活動が盛んで、学生を大切にしている風風に満ちた京都でなければできない、贅沢な学びをぜひ体験しましょう!



申請から審査までの流れ



※2: 審査については、一般枠・文化枠ともに事業内容は同様に審査し、文化枠のみ、学生が考える「文化」の地域への貢献度の観点についても審査を行います。



選考方法・申請後のスケジュール

- ① **一次審査(書類選考)**: 募集締切後～6月中旬
下記の審査基準に基づいて申請書類を採点し、得点の高い事業が二次審査に進みます。

申請区分	一次審査項目	審査基準
一般枠 文化枠 共通	事業のニーズ	事業実施の目的が、対象地域にとって必要性・重要性の高いものか。
	効果	目的に対する効果が期待できる取組内容になっているか。
	協働の深さ	大学・学生と地域の双方が主体的に取組に関わることができるか。協働を通じた相乗効果が期待できるか。
	モデル性・将来性	大学・学生と地域の連携モデルとして、他地域の参考となる取組か。事業内容の深化や拡大、発展などが期待できるか。
	アイデア・先進性	独創性や先進性のある取組か。
	収支予算の適切さ	適切な収入・経費で予算が立てられているか。
文化枠のみ	学生が考える「文化」の地域への貢献度	地域文化の発掘・継承・発信や新たな文化の創造が期待できる取組内容になっているか。 文化を活かした地域の活性化が期待できる取組になっているか。 印刷物や映像などの成果物を効果的に活用する仕組みになっているか。

- ② **二次審査(公開プレゼンテーション)**: 令和2年6月21日(日)

- ③ **支援事業決定・選定結果の通知**: 令和2年7月上旬

- ④ **認定式**: 令和2年7月上旬～中旬

- ⑤ **活動の実施、中間報告書の提出**

- ⑥ **事業報告会(令和3年3月中旬～下旬)**
事業報告・決算報告書の提出

申請区分	二次審査項目
一般枠 文化枠 共通	事業のニーズ・効果
	協働の深さ
	事業の魅力
文化枠のみ	学生が考える「文化」の地域への貢献度

連携に対する熱意も重要!!

インパクトや面白さ、活動への熱意が感じられるかなど



対象となる事業

京都市内における地域の課題解決や活性化を目的として、令和2年度中(採択日から翌年(令和3年)3月末まで)に京都市内で実施される、次の要件(一般枠は①②、文化枠は①②③のすべて)に該当する事業を対象とします。

ただし、政治活動、宗教活動、特定の思想を普及する活動、暴力的・破壊的活動、営利事業等を目的とするものは除きます。

※文化枠への申請事業については、一般枠で採択される場合があります。

※一般枠への申請事業については、文化枠で採択されることはありません。

★継続事業については新規事業と比較して、より充実した事業内容が求められます。

なお、新規事業として申請した場合も、事務局の判断により継続事業とする場合があります。

(継続事業:過去に学まちコラボ事業に申請して採択された事業と類似する事業で、申請者が同一のもの。新規事業:継続事業でない事業)

一般枠・文化枠共通の要件

- ① 団体・グループとして、**大学・学生グループと地域**(主に京都市域を対象に活動する住民組織や市民活動団体、事業者等※)とが**連携・協働して取り組む事業で、特に、学生が主体的に活動を行うもの。**

※行政機関を連携先に含めてもよいが、行政機関のみとの連携は不可。

取組例 保健・福祉、社会教育、まちづくり、学術・文化・芸術又はスポーツの振興、環境保全、地域安全等の様々な分野における調査研究、市民講座、イベントなど。

- ② 学まちコラボ事業以外の京都市からの助成金・補助金を受給していないもの。

文化枠のみの要件

- ③ **重点テーマ「地域を文化する」**※

①②の要件に加え、**地域に眠っている文化の掘り起こし、地域で世代を超えて受け継がれている文化の継承、将来に残していくための発信に取り組む事業** 又は **大学の知や学生の活力により新たな文化の創造に取り組む事業。**

地域文化を継承・アーカイブ化していくため、活動成果を印刷物や映像で発信することが求められます。

※芸術、芸能、行事、産業、衣食住などの生活様式・慣習や、古いものから新しいものまで、「文化」には多様な側面があります。

大学・学生グループと地域自らが「これが文化だ」という視点を持って活動を行ってください。